

「平成29年度に実施した仕事」の振返りシート

記入日 平成 30 年 6 月 1 日

仕事の内容	保健センター運営				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

(総合計画書 47 ページ)

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 3	保健センター費	事業 1	保健センター運営費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 保健センター建物				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 予算額			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 建物管理が適切に行われ、利用者や勤務者の安全が保たれる				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 予算の適切な執行 決算額/予算額			
	③ そのために何をしましたか。 管理・運営を適切に行った				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 決算額：施設管理に必要な費用の適切な執行			

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	円	7,266,000	7,424,000	7,651,000	/	/
	成果指標	②の数値	%	91	85	88	/	/
	目 標	②の目標値	目標設定の考え方 年度ごとに適正な維持管理の内容が異なるため、目標設定は困難である					
	活動指標	③の数値	円	6,570,401	6,275,538	6,741,987	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	6,570,401	6,275,538	6,741,987	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	6,570,401	6,275,538	6,741,987	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	8,233,000	8,267,000	8,253,000		
事業費+人件費		円	14,803,401	14,542,538	14,994,987		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 保健センターの管理・運営を目的とする。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 センター建設(平成20年1月に現在地へ移転)後、10年経過。備品の老朽化が進んだ。	
	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について なし	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について なし
-------------	------------------------------------------------------------------

仕 事 の 内 容	保健センター運営			
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係 課長名 志村 明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
なし				
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。			
	空調機4台・屋根の修繕、ソファの購入			
(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。				
備品及び施設の老朽化				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	平成30年度にソファの購入(更新)は完了するが、引き続き、経年的な備品の購入による長期的な管理運営計画を立案していく。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。			
施設管理における営繕箇所、備品耐用年数等必要な事項を把握し資料化計画的な管理を強化する。				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成 果	成果を維持する。		経 費	仕事の経費は維持する。